

事業名	スポーツ県やまなし推進事業費		
細事業名	いきいき山梨ねりんピック実行委員会事業費補助金	財務コード	163701
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康 課	生涯スポーツ 担当 (内線) 8414

事業の概要

実施期間	始期 H5 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(いきいき山梨ねりんピック実行委員会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民	交流を深めながら、気軽に、スポーツ・レクリエーション活動に参加できている	参加者同士の交流の深まり、生涯スポーツの振興及び心身の健康の保持増進
事業の内容 主にH26年度	<p>「スポーツ県やまなし」宣言記念事業として、県民が、健康でいきいきとした生活が送れるよう、高齢者をはじめとした県民が交流を深めながら、気軽に参加し、スポーツ・レクリエーション等を楽しむことができるよう、いきいき山梨ねりんピックを開催している。</p> <p>この事業の中で、特に高齢者が競技スポーツ以外で参加できる唯一のスポーツ大会である「高齢者総合スポーツ大会」への補助金を交付し、大会を円滑に実施するため、関係機関、団体と密接な連携を図りながら事業を行う。</p> <p>近年の実績(高齢者総合スポーツ大会) 平成24年度 会場:小瀬スポーツ公園 種目:11種目 参加選手:1,756人 平成25年度 会場:小瀬スポーツ公園 種目:11種目 参加選手:1,756人 平成26年度 会場:小瀬スポーツ公園、山城小学校 種目:11種目 参加選手:1,736人</p>		
根拠法令等	いきいき山梨ねりんピック実行委員会事業費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標	開催種目	11種目	11種目	11種目	11種目	目標設定の考え方 高齢者総合スポーツ大会において、高齢者が参加しやすく、大会運営上安全に実施できる種目数 データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率(実績値/目標値)	100.0 %				
成果指標	参加人数	1,756人	2,600人	1,736人	2,600人	目標設定の考え方 高齢者スポーツ大会で参加者が交流を深められ、円滑に運営できる人数を会場等から助案して設定。 データの出典等 事業報告書
	成果指標達成率(実績値/目標値)	66.8 %				
決算額又は予算額(千円)	810		730	730	700	成果指標によらない成果
うち一財額	810		730	730	700	
所要時間(直接分)	32 時間		32 時間	32 時間	32 時間	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	32 時間		32 時間	32 時間	32 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	66		66	66	66	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	近年、小学校などの運動会の日程や、各種行事との日程が重なってしまい、参加者の確保が伸び悩んでいる。また、各種競技団体の計画人数が実際の参加者数を大きく上回る種目があるため、実施時期や種目の見直しが必要である。
c	c	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	目標の種目数は実施できているが、参加者数の確保が課題である。実行委員会において会場や他団体と交渉し、日程の変更を調整中である。また、高齢者総合スポーツ大会において、参加者数が低い実施種目があるため、高齢者が実施・参加しやすい種目に変更を検討する。	d

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プログラムの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
/	/	/

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	高齢者総合スポーツ大会への参加者数確保のため、日程を調整するとともに、高齢者の実態に応じた種目等実施方法についての検討を実行委員会に働きかける。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること